

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 11月

平成29年11月1日の推計人口 1,353,126人
世帯数 562,324世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成29年11月1日現在の推計人口は、1,353,126人で、前月(1,353,550)に比べ424人の減少となった。

市部では大村市(69)、諫早市(40)、佐世保市(11)、島原市(4)の4市で増加し、長崎市(245)、南島原市(55)、松浦市(41)、対馬市(40)、雲仙市(34)、平戸市(30)、西海市(25)、壱岐市(3)、五島市(1)の9市で減少した。

郡部においては長与町(28)、佐々町(16)、東彼杵町(3)の3町で増加し、新上五島町(44)、時津町(39)、波佐見町(23)、川棚町(10)、小値賀町(5)の5町で減少した。

自然動態は、出生数952人、死亡数1,399人で447人の減少、社会動態は、転入者数3,193人(県内転入を含む)、転出者数3,170人(県内転出を含む)で、23人増加となった。

2 世帯数

平成29年11月1日現在の世帯数は、562,324世帯で前月(562,361)に比べ37世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…9月

1人あたり現金給与総額 251,489円

対前月比 1.3%減少

対前年同月比 0.6%増加

1 賃金

9月の常用労働者1人当たりの賃金をみてみると、現金給与総額251,489円で、前月に比べ1.3%減少し、前年同月に比べ0.6%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は247,646円で、前月に比べ0.1%減少し、前年同月に比べ0.3%増加した。

特別給与額は3,843円で、前年同月に比べ、815円増加した。

2 労働時間

9月の常用労働者1人当たりの労働時間をみてみると、総実労働時間は157.0時間で、前月に比べ1.2%増加し、前年同月に比べ0.1%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は144.5時間で前月に比べ0.9%増加し、前年同月と比べ0.2%減少した。

所定外労働時間数は12.5時間で、前月に比べ5.9%増加し、前年同月に比べ4.3%増加した。

3 雇用

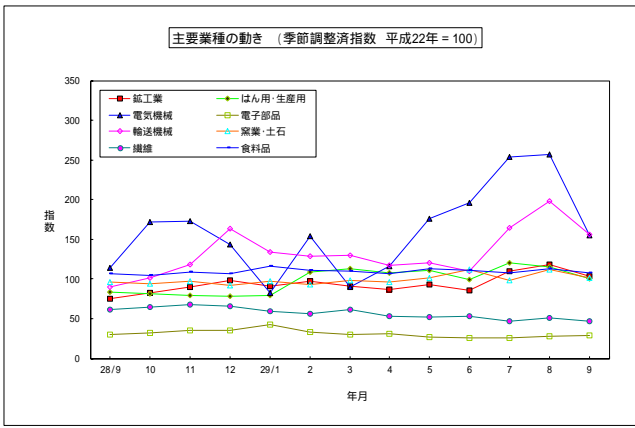
9月の常用労働者数は210,044人で、前月に比べ0.3%減少し、前年同月に比べ1.6%減少した。

【鉱工業生産指数】……………9月

平成29年9月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	103.1	12.5	104.7	33.4
九州	p110.3	p4.4	p112.5	p0.8
全国	102.5	1.0	106.2	2.6



平成29年9月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が103.1で前月比は12.5%の減、原指数は104.7で、対前年同月比は33.4%の増となった。

業種別にみると、電子部品・デバイス工業など4業種が上昇し、電気機械工業、輸送機械工業、はん用・生産用機械工業、窯業・土石製品工業、繊維工業、食料品工業など9業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	4.0	2.6	半導体集積回路

主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	39.6	9.3	交流発電機
輸送機械工業	21.4	81.7	修繕船
はん用・生産用機械工業	13.0	19.3	タービン
窯業・土石製品工業	9.3	9.6	生コンクリート
繊維工業	7.8	25.2	織物製外衣
食料品工業	4.9	0.2	焼酎、冷凍調理食品

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 10月

総合指数(H27=100)	101.1
対前月比(%)	0.1
対前年同月比(%)	0.6

平成29年10月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、101.1である。

前月比は、0.1%の上昇で、主な上昇要因は「交通・通信」の+0.9%、「教養娯楽」の+0.5%であり、主な下落要因は「食料」の0.1%、「被服及び履物」の0.6%である。

前年同月比は、平成29年7月は+0.3%と、8月は+0.4%と9月は+0.8%と推移した後、0.6%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は101.1であり、前月比は0.2%の上昇、前年同月比は+1.0%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

家具・家事用品	0.2%
交通・通信	0.9%
教養娯楽	0.5%

下落した費目

食料	0.1%
被服及び履物	0.6%
保健医療	0.5%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……10月

消費支出(一世帯当たり)	300,779円
前月比	16,695円減(5.3%減)

平成29年10月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は300,779円で、前月比5.3%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は73.7%であった。

主な支出内容	支出額(円)	対前月増減率(%)
食料	72,313	1.5
住居	17,313	46.1
光熱・水道	20,871	7.0
交通・通信	38,317	1.6
教養娯楽	21,662	32.4

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。

「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。